



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

臨時号

令和6年5月17日発行

2024 MAY



新体制決まる 2

常任委員会構成 3

選挙公報 4~7

各組合議員・監査委員紹介 8

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ➡



新しい議会体制決まる

4月22日初議会

議長・佐藤 孝義 議員

副議長・中野 大徳 議員

副議長



中野 大徳
当選5回 65歳

議長



佐藤 孝義
当選5回 73歳

初議会が4月22日に開かれ、議長・副議長選挙各常任委員の選任が行われ新しい議会体制を決めました。

佐藤議員が 新しい議長へ 選挙結果

*議長選挙

佐藤 孝義	6票
鈴木 好行	4票
酒井 右一	2票

*副議長選挙

中野 大徳	12票
-------	-----

今回4月22日の初議会において、議長に選任されました佐藤孝義です。3月の町議選では無投票となりましたが、定数12人のうち4人が入れ替わりしました。若い人も加わり只見町の将来のためにはよかったと考えますが、私を含め全員が真に選ばれた人ではありません。今後の議員活動の中では、より厳しい目が向けられると思います。

町は、年間100人も人口が減り続ける中、政策課題は山積しております。これら一つ一つを、新しくなった各常任委員会等で具体的な議論を重ね、審議を尽くし町政を推進していきたいと思えます。私も初めての職責ですが、議員各位のご指導、ご協力を頂きながら、中立公正の立場で議会運営に全力で臨む覚悟です。最後に、町政の発展と町民福祉の向上を議員全員でお誓い申し上げ挨拶とさせていただきます。

新議長あいさつ

総務常任委員会

総務・民生及び保健福祉・陳情・請願審査担当

委員長



矢沢 明伸
2期 (69歳)

副委員長



山岸 国夫
3期 (77歳)

委員



酒井 右一
5期 (74歳)

委員



菅家 忠
2期 (43歳)

委員



平山真恵美
1期 (53歳)

委員



佐藤 孝義
5期 (73歳)

委員長



小沼 信孝
3期 (64歳)

副委員長



鈴木 好行
3期 (67歳)

委員



目黒 道人
2期 (50歳)

経済常任委員会

産業・経済及び文教・陳情・請願審査担当

委員



齋藤 猛
1期 (67歳)

委員



角田 誠
1期 (45歳)

委員



中野 大徳
5期 (65歳)

選挙公報

今回の只見町議会議員選挙当選者は、定数12名のところ、候補者が12名となり、無投票での当選となったことから、どのような思いで只見町議会議員へ立候補したのか選挙公報を掲載することとしましたので、ご覧ください。(この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま掲載したものです)



さとう たかよし 佐藤 孝義

ブナと生き、雪と暮らす町、只見ユネスコエコパーク、奥会津の真の地域価値観を共有し、小さな町の生き残りをかけて頑張ります

- 一、既存産業及びイノベーションに積極的に取り組む事業者を支援し、雇用の拡大を目指す
- 一、耕作放棄農地の拡大、里山の消失、野生動物被害拡大対策
- 一、季の里湯ら里の改修と観光産業を推進
- 一、八十里開通に向けた施設の整備を推進
- 一、朝日診療所の診療体制の充実を推進
- 一、小学校統合と教育の充実
- 一、只見駅を含む周辺のコミュニティ要素を含む施設の整備及び商店街の活性化
- 一、森林資源の持続的活用、エネルギー地産地消経済循環事業の推進
- 一、山積する町の政策課題に取り組み、具体的な議論で審議を尽くし、町政を推進する



中野たかのり

- 1 只見線全線開通只見駅前広場に観光客、町民の憩いの場の早期実現
- 2 災害に強いまちづくりの推進
新潟福島豪雨災害を受けての只見川河川整備の早期完成
- 3 歴史と文化、自然の恵み、美しい風景を活かしたまちづくり
100人の人が1回訪れるより、10人の人が10回訪れるまちづくりを目指す
- 4 林産資源の保護と活用
薪エネルギーの推進

皆様のご支援心からお願い申し上げます。



只見町議会議員候補者 酒井 右一

しっかり考え、はつきりものを言います。

「地域消滅の危機・人口減少・高齢支援世帯の増加」大変な事態です。解決が急がれます。

◎緊急な課題があります。

今、地域医療が危機に陥っています。医師や看護師、スタッフ不足、今こそ診療所の将来像や明確なビジョンが必要です。

◎八十里越峠が開通します。

交通量の増加に緊急対応しなければなりません。騒音や振動、交通事故の懸念、信号機や横断歩道全てが遅れています。

地域存続 「安心・安全な暮らし」

私は本気で仕事します。

年金・医療、賃金上げなど、命・暮らしを守る政治を
岸田政権に只見町の意味を示そう

これからも安心して住み続けられる只見町に



日産党
共産党

山岸国夫

みなさんの願い、思いを

とごまんに届けて頑張ります

◎ 国保税、介護保険料の負担軽減

収入減のなか、重税感の強い、国保へ介護保険料の負担軽減を引き続き求めていきます。

◎ 子育てを応援する只見町に

学校給食、保育料の無料化が実現。声をあげ続ければ実現できることを示しました。

就学前の子どもたちが気軽に利用できる遊び場の確保など、子育てを応援する只見町にしていきます。

◎ 安心して暮らせるために

◆ 難聴者への補聴器購入補助を

◆ 診療所の医師と看護師の確保

◆ 介護職員処遇改善を求めています

◆ 福祉灯油の復活を求めます

◎ 物価高騰のなか、町民への支援対策を求めます



鈴木 好行



人口減少に歯止めをかけたい！

『実現した私の提案』

- * 保育料の完全無料化、入所年齢の引き下げ
- * 屋内運動器具の設置
- * 町下グラウンドの改修、ナイター設置
- * 只見高校野球部甲子園出場へ向けた行政支援等

『これからの私の目標』

子育て環境の充実を！

- * 冬でも運動できる健康・スポーツ環境づくり
- * 親子で楽しめる遊び場づくり
- 交流人口の拡大を！

- * SNSによる情報発信を推進します
- * 既存の観光施設の充実を図ります
- * 「只見ダム前面に芝桜を」を提案します
- 既存産業を支援し、人材の確保を！
- * 技能実習生を含め、環境改善を図り、雇用の拡大を目指します

元気なお年寄りが稼げる環境を！

- * 採れた野菜や山菜などで収入を得る仕組みづくりを提案します

まだまだやりたいことがいっぱいあります。
みなさまの暖かいご支援をお願い申し上げます。



只見町議会議員候補者

小沼のぶたか

集落や町民が抱える多くの課題に取り組み、町との繋ぎ手として。又、迫る八十里開通、人、車の流れを見据えた町づくりを急がなければなりません。

多くの課題に取り組むため、小沼のぶたかは只見町議会議員に立候補いたします。

◎ 町民の声を町へ届け問題解決の繋ぎ手として

集落や町民が抱える多くの問題、課題と一緒に考え、取組み、町との繋ぎ役としての役割に今後もしっかり組んでいきたいと考えます。

◎ 交流人口を見据えた町づくり

只見線再開通、八十里国道289号線開通に伴う多くの人や車の動き、町としての様に受け入れ、おもてなしをして行けばよいか、いかにして只見町に来ていただくのか受け入れ体制作りが急務です。地域の課題は地域で考えて行くものだと考えます。

何卒皆様のご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。



只見町議会議員候補者

やざわ あきのぶ

矢沢 明伸

JR只見線が全線再開通し、国道二八九号八十里越の開通ももうすぐです。只見町の交通環境、社会情勢も変わる中、皆さんの力、思いをつなぎ合わせ、安心して暮らせる只見町、人口減少にも負けないまちづくりを進めていかなければならないと思います。

＊子ども達、若い世代が生き生き暮らすまちづくり

＊生活基盤を支える、保健、医療、福祉の充実

＊議会と行政が連携し、住民が主体となった

まちづくり

みなさんの声を力に

暮らしやすい まちづくりに取り組んでいきます。



目黒みちと

通院のための交通の確保を

親の通院のために仕事を休まなければならない人が大勢います。仕事を休むということは地域の生産性が落ちるとい見方もできます。また一人暮らしのお年寄りはどうでしょうか。このみんなの課題を解決するため議論します。

只見線のダイヤを増やしたい

観光客は増えましたがダイヤについては不便極まりなく、観光客からも不満の声が寄せられています。また朝7時に乗って帰りは夜8時というのを住民の足と云えるのでしょうか。先に述べた通院に使える只見線であって欲しい。ダイヤの改善を議論しJR東日本へ対し要望していきます。

若い文化を育むまちづくりを

若者の移住定住に必要な仕事、子育て、住環境などに加え文化も充実すべきであると考えます。また小さな子供が遊べる遊具を備えた屋内施設へのニーズも高まっています。若い世代の移住定住を求めるのなら、若いカルチャーを育み後押しする地域になれるよう議論します。

新エネルギーを活用しましょう

日本の7割が中山間地域であり、エネルギーの地産地消が可能です。またエネルギーの地産地消は地域の経済を豊かにします。ユネスコ・エコパークの只見こそがそのモデルとなり牽引するべき町なのです。これらを踏まえ新エネルギーの活用を議論します。

湯らみの健全な経営を

株式会社四季の湯らみの社長は只見町町長が兼務しています。しかし町長が観光施設のマネジメントを主導することはその実績から不可能であると言わざるを得ません。町長は行政に専念すべきであり、観光施設の経営はどうあるべきか議論します。

※その他、議員定数、報酬、議決制度についても議論します

新しい豊かさを 只見ユネスコ・エコパークから

■ 2つの約束 | 取組むこと・実現させること

1 次世代が子育てできる町に

みんなに優しいまちになる

高齢者・福祉政策に必要なのは、予算を沢山つけることなのでしょうか。お金があっても、そこに働く人がいないと、問題は解決しないと思います。大切なことはお金ではなく、人です。「今の子どもたちが、只見町で子育てできる環境」は、子どもに優しい、働く人にも優しい、高齢者にも優しい、障がいをもつ人にも優しい、みんなに優しい町に繋がると考えます。

2 私も議員をやってみたい！に

議会議員をおこがれの職業に

議会議員の仕事は毎日が刺激的です。町民の方が困っていることを解決するために勉強し、糸口が見つかった時は最高にテンションが上がります。自分の住んでいる町を自分でつくっていると感じられる素敵な職業です。「議会議員はカッコいい仕事」だと思ってくれる次世代を増やしていくことが、これからの只見町に大切なことだと考えます。

4 年前に掲げたこと

1. 「子育てしやすい町へ」……様々な提案はしましたが、まだまだ実現できていません。
→学校のあり方から、みんなで考える機会を増やします。
2. 「若者を応援します」……祭り等で応援できましたが、政策提案は不十分でした。
→一緒にご飯を食べながら、若者の考えを学びます。
3. 「情報共有・対話します」…SNSで情報発信をしましたが、対話が足りませんでした。
→画面越しではなく、顔を見に行く機会を増やします。

―まちづくりを、次世代へ―



菅家忠

かんげ ただし



FACEBOOK



斎藤 猛

議員定数の削減

人口が減少してきているので
他町村の定数も考慮し
9名への減も提案

コミュニティの充実

気象に集まりあしやべりする場所
一緒にいる人なこともできる場所
議員に気配に意見も言う場所

道の駅計画の見直し

販売する町内産品あり企画
運営する人材育成確保



只見町議会議員候補者 ひらやま

平山 まえみ

このたび、『誰もが未来に希望が持てる地域を共に
築いていきたい』という思いで立候補いたしました。
平成二十年、町に総合型クラブが創設されてから、
クラブマネジャーとして、多くの皆様の支えをいた
だきながら、町内での子育て支援活動、地域スポー
ツ活動等を進めてくることができましたこと心より
感謝申し上げます。

みなさんもご存じの通り、只見町は少子高齢化の
急速な進展と総人口の減少という大きな課題に直面
しながらも、未来に続く町づくりを進めていく必要
があります。このような中、私は「子どもが育てば
町が育つ」という信念で、教育や保育、地域交流の
場を充実させながら、未来につながる町の根っこを
育てる取り組みに力を注いでいきます。この取り組
みは、子どものための施策だけでなく、町に力を
与え、持続可能な社会を創る源泉にもなります。

この立候補は私の初めての挑戦ですが、一人ひと
りの声を大切に、皆様のご支援とご協力を得なが
ら、真摯に取り組んで参ります。



只見町議会議員候補者

つのだ 誠

◆福島で一番住みたくなる町へ

◎ 未来につなぐ子育てを充実させます。
待機児童をゼロへ。保育士さんの会計年度任用職員制度を見直したい。

◎ 町の基幹産業の整備を強化、まちづくりを推進します。
一次産業の農業や林業、二次産業の工業と建設業、三次産業の商業、
サービス業など町で働く皆さんの支援体制と職場環境の整備を整え、生
活水準を底上げしたい。

◎ エネスコエコパークの魅力を発信、活用したにぎわいを創出し、交流
人口の増加と観光利用のシステムを構築したい。

◎ 只見町にまた来たいと思ってもらえるのはやはり人材です。只見町公
認自然ガイドが設立されていますが、活用方法が町から示されていま
せん。交流人口や移住検討人口の増加は人口増加の第一歩だと考えます。

◎ 地域医療の不安を解消
医師と看護師不足は町にとって深刻な問題です。これを解消するには
町独自の採用方法や派遣体制の見直しが必要不可欠。U・Iターンした
と考えてもらえる仕組みや、子育て支援にも繋がりますが、町に小児科と
産婦人科が常駐出来る体制を整えて行きたい。

◎ 只見町ではやりたい事(理想)より、やらなければいけない事(現実)
の方が多い様に思います。

◎ 本来の議員活動はあらゆる活動に携わらなければいけないが、事が進
まないのでは困ります。私は一つの事に關して一点突破を心掛け、スピー
ドは少し遅くなるかもしれませんが、地に足をつけ前に進んでいきます。

角田 誠プロフィール

1979年1月29日生 45歳

経歴

- 福島県立南会津高等学校卒業
- 神奈川県総合警備保障
- 株式会社 鎌造G.L
- 一般社団法人 只見町観光まちづくり協会事務次長
- 只見町観光まちづくり協会事務次長
- 総合技術

現職

- ふるさと只見案内協会副会長(山担当)
- 只見町消防訓練副分団長(訓練指導員)
- 小林早乙女踊り保存会理事
- 野外災害救急法WDR所持
- (山)でお医者さんで参ります
- 旅程管理責任者(乗客員が出来ます)

広報広聴常任委員会

議会だより広報及び町民との広聴・広報担当

委員長



菅家 忠
2期 (43歳)

副委員長



目黒 道人
2期 (50歳)

委員



鈴木 好行
3期 (67歳)

委員



小沼 信孝
3期 (64歳)

委員



矢沢 明伸
2期 (69歳)

委員



角田 誠
1期 (45歳)

議会選出監査委員

鈴木 好行 議員



* 議会選出監査委員の選任同意が町長から提出され、満場一致にて同意されました。

★南会津地方広域市町村圏組合議員

* 郡内町村の消防・救急医療組合の担当
山岸 国夫・佐藤 孝義

★南会津地方環境衛生組合議員

* 郡内町村ごみ処理組合の担当
目黒 道人・齋藤 猛・佐藤 孝義

★議会運営委員会

* 委員長 酒井 右一
* 副委員長 平山 真恵美
* 委員 小沼 信孝・矢沢 明伸・菅家 忠

発行責任者

議長 佐藤 孝義

広報広聴常任委員会

委員長 菅家 忠

副委員長 目黒 道人

委員 鈴木 好行

委員 小沼 信孝

委員 矢沢 明伸

委員 角田 誠

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp